

第41回全日本大会 平成27年3月29日 福島県二本松市

東日本大震災による津波被害と原発事故の風評を払拭！ 全国に安心を発信！

第41回全日本大会  
平成27年3月29日 福島県二本松市

「安達太良山の山の上に 毎日出ている青い空が ほんとの空」とは高村光太郎の詩集『智恵子抄』の一節。26年前に2000人を超えるオリエンテアが駆け抜けた青いほんとの空がある安達太良山麓の里山に全日本大会が帰ってきました。

26年前はコントローラーとして運営に携わった山川氏があらためてマップーとしてGPSを駆使し、ニューMAP『智恵子の里』として甦らせ、皆さんをお招きします。

福島県オリエンテーリング協会では、全日本大会を開催するに当たり『東日本大震災及び原発事故からの復興そして風評による福島のマイナスイメージを払拭する！』ことも大きな目的にしています。

東日本大震災の津波と原発事故から4年目となり、少しずつ復興の足音は聞こえ始めていますが、まだ全町民が避難している地域もあり、避難先から自宅に戻れないでいる被災者も多くあります。まだまだ風評によるマイナスのイメージが残っています。このような時に、全国からたくさんの競技者が福島の山野を駆け抜け、最高のパフォーマンスと笑顔を見せてくれることは、風評のマイナスを吹き飛ばしてくれるに違いありません。

全国のオリエンティアが安心してアウトドアスポーツを楽しんでいることを全国に発信することができます！

## 前日大会の開催案内と宿泊の奨励・・・

本大会は福島県の事業である「ふくしまから発信・全国大会誘致事業」及び「公益信託うつくしま基金」の助成を受けて実施いたします。全国の競技者が競技を楽しみ、福島に宿泊していただくことが『福島を元気にしてくれる』・・・そのような願いが込められています。

本号に開催要項を折り込みましたが、「全国大会前日イベント、岳温泉夕日



二本松城址から望む安達太良山麓、トレインの一部

ヶ丘オリエンテーリング大会」に参加し、岳温泉や二本松市内など福島県内に多数、宿泊していただきたいと願っております。岳温泉観光協会には協賛をお願いし、宿泊の斡旋をいただいております。是非ご利用ください。

この前日イベントは二本松オリエンテーリングクラブと福島大学オリエンテーリング部が共同で開発した、「岳温泉の新しいエリア」で大会を用意して皆さんを待っています。運営も両クラブが担当いたします。

## 競技センターは円形の総合体育館と広大なグラウンドを貸切、余裕の駐車場！



皆さんを待つ競技センター-城山総合体育館

競技センターとなる二本松市城山総合体育館はグラウンドも含め、貸切で使用します。このため、駐車場利用券を

発行しなくとも全車両が駐車できることになりました。ご安心ください。

## トレインは高速道路を挟んで両側に拡がり、

西から東に延びる数本の尾根とその尾根上を流れる水路が大きな特徴です。かつて、参加した選手が「足元ではなく頭の上から水の流れる音が聞こえてきた！」と水路についての驚きと感動を語ってくれました。

## コース設定は、世界選手権常連の高橋善徳氏

が担当し、エリートランナーと多くのアスリートのために積雪のあるトレインを走り、コースづくりをしています。

また、競技センターからスタート地区までは少し遠くなることも考えられ、現在、マイクロバスによる選手輸送も検討しております。

このほか、いろいろ紹介したいことは尽きませんが、年度末の忙しい時期に参加される皆さんに決して損をさせない、得した気分になる全日本大会となるよう準備を進めております。福島の2日間を十分に楽しんでください。

福島県オリエンテーリング協会  
(加藤一郎)